

ミロトツキ

第3回



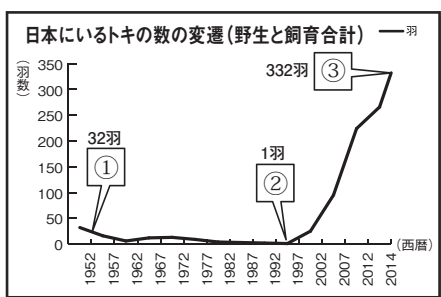
トキの生息数

江戸時代の『出雲国産物帳』にはトキが記載されています。また、大正時代の『島根県史』に「宍道湖にはトキ、ハクチョウしばしば来る」と記され、かつて出雲地方にもトキがいたことがうかがえます。当時のトキの生息数は不明ですが、ありふれた鳥だったようです。1870年代になると乱獲などによりトキは数を減らし、島根県内で最後に残った隠岐諸島でも1945年(昭和20年)に絶滅したと考えられています。

生息数の記録があるのは本州最後のトキ生息地となった石川県能登地方と、日本で最後までトキが生息した新潟県佐渡島での記録で、1952年に32羽が確認されています(グラフ①)。確認されるトキは減り続け、1995年(平成7年)には日本で飼育されていたのはキンという名前のトキ1羽だけになりました(グラフ②)。1999年中国から贈呈された2

羽のトキの繁殖に成功し、さらに中国から新たにトキの提供を受けるなどしたことで、日本にいるトキは増えてきています。2008年(平成20年)からは放鳥を始め、平成26年5月23日現在、野生でも92羽が生息しており、飼育下で240羽(これには出雲市で飼育

している17羽を含みます)、国内にいるトキの合計は332羽(グラフ③)。



今回は、トキ保護の歴史について紹介します。

おたずね／出雲市

トキ分散飼育センター
☎201350

国際交流のひろば

vol.3

Moi moi (バイバイ) 出雲!

国際交流員の仕事に着任して3年になり、出雲での生活は7月末までと残りわずかになりました。

「日本人は恥ずかしがり屋で、他人に声をかけない。物事を時間通りに行く。自宅にはめったに招待してくれない。」私は、日本人や、日本文化についてだいぶ分かっているつもりで出雲にきましたが、出雲に来て考えを改めました。

出雲では、待ち合わせの時間になって誰かがまだ来ていなくても、「出雲時間だけん」と笑いながら言います。スーパーで買い物をする時には、おばあちゃんに出雲弁でよく声をかけられます。そして、日本人のおうちに何度も誘われました。私は出雲で知らなかった新しい日本に触れることができました。



高松地区での田植えの様子

こんにちは!
国際交流員の **ミリヤ** です。
フィンランドから来ました。



田儀小学校での講演の様子

出雲歌舞伎の出演を始め、田植えにファッションショー、良い思い出がたくさんできたのは、色々なところに誘ってくれたみなさんのおかげです。みなさんは出雲は何もない田舎だと思われるかもしれませんが、そんなことはありません。ここに住んでみれば、出雲の良さが分かります。そして、この地域がイキイキしていることがよく分かりました。出雲を離れても、ここで過ごした日々を一生忘れません。本当に幸せな3年間でした。

新しい日本を見せてくれた出雲のみなさん、ありがとうございました。3年間、本当にお世話になりました。だんだん! Kiitos! (ありがとう)

国際交流員は、国際理解教育の場などに積極的に参加し、地域の国際化のために活動しています。
おたずね／国際交流室 ☎21-6576

えがおになあれ

(47)

子どもたちが明るく元気に育つのを
見ると、未来に希望を感じます。
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人
も、「えがおになあれ」…そんな願いを
込めて、このコーナーを設けました。
(出雲市要保護児童対策地域協議会)

助産師が伝える「いのちの大切さ」 「バースディプロジェクト」の取り組み

「いのち」の始まりに出会う助産師の立場から「いのち」の大切さを伝えたいという熱き思いで、幼児から学生、保護者を対象に「いのちの築習出前講座」を行っています。誰にでもある「誕生日」に思いを寄せ、オリジナルの歌や紙芝居などを使って感動的に伝えていきます。そして、思春期の子どもたちには、生まれてきた自分のいのちを見つめつつ、未来へとつなぐみんなのいのちについて一緒に考える「健康教育」も提供しています。

出産の再現シーンでは、「がんばれ！がんばれ！」の子どもたちの声援に包まれながら、生命力あふれる産声をあげて赤ちゃんが誕生します。大きな拍手の中、子どもたちの嬉しそうな笑顔とともに出産の



子どもたちは、紙芝居「赤ちゃん物語」を真剣に聞いてくれます。

要保護児童対策地域協議会は、子どもが健やかに育つよう社会のさまざまな機関が子育て中の家庭を見守り、必要に応じて支援し、児童虐待等のない社会を目指すために組織したものです。

感動が甦ったのか、涙ぐむ保護者たちの姿もありません。
「赤ちゃんって温かい。宝物だわ。生まれてきてくれてありがとー！」母親役の助産師が、必ず伝えるメッセージです。



「みんなのいのちは、こんなにも受け継がれてきているんだよ！」

誕生日は、いのちが生まれた記念の日です。そして、温かく見守ってくださった人々に感謝する日でもあります。ご家庭では、生まれてきたときの様子や感動を、繰り返し話してあげてください。きっと、親子の絆が深まると思います。家族の温かい愛情に気づいた子どもたちは、自分も周りの人も大切にしようとする心が育ちます。私たちは、子どもたちの幸せな将来を願いつつ、家庭や学校と連携しながら、この活動を続けていきたいと思っています。
(執筆・島根県助産師会)

おたすね／子育て支援課

☎2166004

平成26年度出雲市障がい者 相談員を紹介します

障がい者福祉に理解と熱意がある相談員が相談に応じます。お気軽にお問い合わせください。今年度の障がい者相談員は左表のとおりです。

●身体障がい者相談員

名前	住所	電話番号
竹下 英治	塩冶町1723-1	23-0797
木村 知子	枝大津町16-7	22-4187
福間 清子	灘分町2311	62-3873
角 貞徳	園町819	69-1065
和泉 積	佐田町反辺220-3	84-0155
石飛 丈和	多伎町口田儀206	86-2714
今岡 忠嗣	湖陵町常楽寺700-1	43-2202
大村 豊秋	大社町杵築南	53-0325
廣戸 八重子	斐川町神氷2718-2	72-6569

●知的障がい者相談員

名前	住所	電話番号
伊藤 喜代子	平野町842	22-5624
山田 瑞子	今市町427-1	21-0121
竹田 朝男	下横町514	28-0415
原 泰子	中野町689-5	21-3470
久家 久美子	灘分町1390	62-5008
村山 進	大社町北荒木807-1	53-5413
荒川 文雄	斐川町直江1555-63	72-7044

おたすね／福祉推進課

☎2169661